

平成22年度
第1回高松市牟礼地区地域審議会
会議録

と き：平成22年5月27日（木）

ところ：高松市牟礼支所 東館2階 第1会議室

<p style="text-align: center;">平成22年度 第1回高松市牟礼地区地域審議会 会議録</p>

1 日時

平成22年5月27日（木） 午後2時00分開会・午後3時14分閉会

2 場所

高松市牟礼支所 東館2階 第1会議室

3 出席委員 15人

会長	三野重忠	委員	坂本英之
副会長	奥谷義明	委員	中野都子
委員	太田明美	委員	中山忠彦
委員	大林良博	委員	那須朋子
委員	小田幸子	委員	新谷稔
委員	落合賢	委員	松浦隆行
委員	川田ヒロミ	委員	松原伊早恵
委員	川浪正二		

4 欠席委員 なし

5 行政関係者 23人

市民政策部長	松木健吉	産業経済部次長	商工労政課長事務取扱
市民政策部次長	企画課長事務取扱		佐々木秀樹
	宮武寛	商工労政課長補佐	西川宏行
企画課長補佐	多田安寛	道路課長	石垣恵三
地域政策課長	藤本行治	道路課長補佐	里石明敏
地域政策課長補佐	熊野勝夫	道路課長補佐	山口忠洋

地域政策課長補佐	佐々木 和 也	教育部次長	生涯学習課長事務取扱
地域政策課係長	佐 藤 潔		村 上 和 広
スポーツ振興課長	栗 田 康 市	教育部総務課長補佐	滝 川 賢 二
スポーツ振興課係長	八 村 信 好	学校教育課長補佐	宮 治 孝 哲
介護保険課長補佐	和 田 安 富	生涯学習課主事	好 井 智 哉
障がい福祉課長	山 田 剛 士	中央図書館長補佐	吉 井 久 二
長寿福祉課長	秋 山 浩 一		
地域包括支援センター	副センター長		
	楠 康 弘		

6 事務局（牟礼支所） 3人

支所長	秋 山 徹	管理係主任主事	高 岡 朗
支所長補佐	黒 川 正 俊		

7 オブザーバー 2人

高松市議会議員	井 上 孝 志	高松市議会議員	高 木 英 一
---------	---------	---------	---------

8 傍聴者 2人

会 議 次 第

1 開会

2 会議録署名委員の指名

3 議事

(1) 報告事項

ア 合併基本計画に係る事業の平成22年度予算化状況について

イ 合併基本計画に係る平成22年度から24年度までの実施事業に関する意見に対する対応内容等について

(2) 協議事項

ア 合併基本計画に係る平成23年度および24年度の実施事業に関する意見の取りまとめについて

4 その他

5 閉会

午後2時00分 開会

会議次第1 開会

○事務局（黒川支所長補佐） お待たせいたしました。予定の時刻がまいりましたので、ただいまから、平成22年度第1回高松市牟礼地区地域審議会を開会いたします。

委員の皆様には、何かと御多忙中のところ御出席をいただきまして、誠にありがとうございます。

議事に入りますまでの間、本地域審議会の事務局として、私、黒川が進行させていただきますので、よろしくお願いを申し上げます。

初めに、開会に当たりまして、三野会長よりごあいさつを申し上げます。

○三野会長 どうも、三野でございます。

委員の皆様方におかれましては、大変、御多忙の中、御出席をいただきまして、本当にありがとうございます。本日の地域審議会におきましては、次第のとおり、報告事項2件、そして協議事項1件を御審議いただくわけでございますけれど、どうか実りある審議会にしていきたいと思っております。

なお、会議終了後、自主検討会の打合せ等も予定いたしておりますので、どうかよろしくお願いをしたいと思います。

さて、執行部の皆様方におかれましては、合併以来、牟礼地区の多くの事業を推進していただいております。この場をお借りしまして、お礼を申し上げたいと思っておりますし、今後も変わらぬ御配慮をよろしくお願いしたいと思います。なお、審議の中で、各委員から、いろいろな御意見あるいは御要望等が出るように思いますけれども、どうか的確な御答弁、御回答をよろしくお願いしたいと思います。

また、大変お忙しい中、オブザーバーとして御出席いただいております、高木議員、井上議員におかれましては、常日ごろ、議会活動、大変御苦勞様でございます。この場をお借りしましてお礼を申し上げたいと思っておりますし、今後も牟礼地区発展のために御指導をよろしくお願いしたいと思います。

最後になりましたけれども、傍聴にお越しの市民の皆様、今日は、ありがとうございます。最後までお付き合いをいただきますようお願いをし、大変簡単でございますけれども、開会のごあいさつに代えさせていただきます。

本日は、皆様、大変御苦勞様でございます。

○事務局（黒川支所長補佐） ありがとうございます。

ただいま、三野会長からも御紹介がりましたが、本日は、牟礼地区選出議員であります高木市議、井上市議にもオブザーバーとして御出席をいただいておりますので、併せて、よろしく願いいたします。

ここで、会議に入ります前に、会議の進行等について、皆様にお願いがございます。

本地域審議会の会議につきましては、会議録を作成することとなっておりますので、御発言をされる場合には、まず、議長の許可を得た後、誠に恐れ入りますが、お手元のマイクのスイッチを押していただき、お名前を先に申し出ていただいてから、御発言をされま

すよう、お願いを申し上げます。

それでは、本審議会協議第7条第3項の規定に基づきまして、会議の議長を務めていただきます三野会長に、これ以後の議事進行をよろしく願いいたします。

○議長（三野会長） これより議長を務めさせていただきますので、皆様方の御協力をよろしく願いいたします。

まず、本日の委員の出席状況でございますが、15名全員の出席でございます。本審議会協議第7条第4項の規定に基づく、委員の半数以上が出席しておりますので、本日の会議は成立いたしておりますことを御報告いたします。

会議次第2 会議録署名委員の指名

○議長（三野会長） 続きまして、会議次第2の「会議録署名委員の指名」でございますけれども、会議録の署名委員につきましては、本地域審議会委員の名簿順ということになっておりますので、本日の会議録署名委員には、小田幸子委員さんと落合賢委員さんのお二人にお願いいたします。よろしく願いいたします。

会議次第3 議事

○議長（三野会長） 続きまして、会議次第3の「議事」に入ります。

本日の議事でございますが、次第のとおり、報告事項2件と協議事項1件の案件がございます。

会議の進行でございますが、まず、(1)の報告事項のアとイの2件につきましては、関連がございますので、一括して担当部局より御報告をいただき、終了後、順次、御質問、御意見をお受けし、その後、(2)の協議事項に移りたいと存じますので、よろしく願いをいたします。

なお、時間も限られておりますので、御質問、御答弁につきましては、簡潔にお願いをいたします。

(1) 報告事項

ア 合併基本計画に係る事業の平成22年度予算化状況について

イ 合併基本計画に係る平成22年度から24年度までの実施事業に関する意見 に対する対応内容等について

○議長（三野会長） それでは、報告事項アの「合併基本計画に係る事業の平成22年度予算化状況について」担当部局より報告をお願いいたします。

○藤本地域政策課長 議長。

○議長（三野会長） はい、どうぞ。

○藤本地域政策課長 地域政策課の藤本でございます。よろしく願いいたします。

座って説明させていただきます。

それでは、報告事項ア「合併基本計画に係る事業の平成22年度予算化状況」につきまして、お配りしております資料を基に御説明をさせていただきます。

お手元に、A3サイズの大きい横書きの表が2種類あると存じますが、そのうち、右上に資料H22-1-①と記載のあります「合併基本計画に係る事業の平成22年度予算化状況（地区のみの事業）」を御覧ください。こちらのほうは、両面印刷となっております。この資料でございますが、一番左側のまちづくりの基本目標として、①の「連帯のまちづくり」から裏面の⑤の「参加のまちづくり」までの5つの基本目標ごとに、施策の方向、施策項目、事業名、平成22年度事業計画の概要を記載し、平成22年度当初予算額と平成21年度当初予算額を対比させ、その増減額を記載しております。

時間の関係もございますので、逐一の説明は省略させていただきますが、主な事業の平成22年度当初予算額を申し上げます。

まちづくりの基本目標の①の「連帯のまちづくり」では、知的障害者小規模通所授産施

設の運営として、1,528万6,000円でございます。

②の「循環のまちづくり」では、水道管網の整備として、老朽化したセメント管の更新など1,755万5,000円、ポンプ場の整備（下水）として、1億100万円、牟礼浄化苑施設整備として、2億1,474万5,000円、牟礼浄化苑管理運営として、1億5,007万1,000円でございます。

③の「連携のまちづくり」では、河川の改修として、2,000万円、平成22年度からの新規事業で牟礼合同庁舎・コミュニティセンター建設工事実施設計として、1,640万9,000円、消防ポンプ自動車の購入として、1,387万6,000円、学校施設の耐震化として、牟礼北小学校、牟礼南小学校および牟礼中学校の耐震補強工事等、1億9,732万5,000円でございます。

裏面をお願いいたします。④の「交流のまちづくり」では、駒立岩南駐車場および案内掲示板の整備の完了に伴い、牟礼地区都市再生整備事業については、予算計上いたしておりません。市道の整備として、宮ノ前川原線の道路改良工事など、3,080万円でございます。

なお、④の「交流のまちづくり」のうち、中ほどの「中小企業指導団体等の助成」につきましては、「平成22年度当初予算額(ア)」の欄と「平成21年度当初予算額(イ)」の欄のいずれも数値を記載しておりません。

これは、「平成22年事業計画の概要」の欄に記載しておりますように、この助成が、牟礼町および庵治町の各商工会が合併した高松市牟礼庵治商工会への助成であり、地区ごとに予算を区分していないことによるものでございます。

以上、①の「連帯のまちづくり」から⑤の「参加のまちづくり」までの予算額を合わせまして、総額で、8億6,512万6,000円を予算措置しているものでございます。以上、簡単ではございますが、「合併基本計画に係る事業の平成22年度予算化状況」の説明を終わらせていただきます。

続きまして、報告事項イの「合併基本計画に係る平成22年度から24年度までの実施事業に関する意見に対する対応内容等について」御説明をさせていただきます。

お手元の資料H22-1-②の「合併基本計画に係る平成22年度から24年度までの実施事業に関する意見に対する対応調書」を御覧ください。

この対応調書につきましては、昨年7月23日に「合併基本計画に係る平成22年度から24年度までの実施事業に関する意見」を提出していただき、その後、昨年11月2

4日に開催されました平成21年度第2回地域審議会におきまして、その対応策について御説明をさせていただいておりますが、その後の第2期まちづくり戦略計画に基づく平成22年度の予算措置などの状況を踏まえ、地域審議会から意見のありました項目の中で、事業の進捗等により、対応内容等について変更がある項目について、改めて御説明をさせていただくものでございます。

それでは、資料に従いまして、各担当部局から御説明させていただきますので、よろしくお願いたします。

○石垣道路課長 道路課の石垣でございます。どうぞよろしくお願いたします。

2ページ目の項目番号7番、牟礼町大町川東地区の八栗新道交差点の改良でございます。八栗新道交差点におきまして最近発生した死亡交通事故については、車の人為的操作ミスが原因であると、再度、県警に確認しております。

その交差点の改良については、国道の北側に琴電と南側にJRの軌道があり、交差点の改良に要する用地の確保は困難ということで伺っておるところでございます。

なお、この交差点の、より一層の安全性を確保するため、国と県警が安全施設の路面表示や信号機のLED化を本年2月に実施したということでございます。

さらに、歩行者の安全性確保を図るため、地元市議会議員の御協力によりまして、琴電大町駅付近から八栗新道駅付近の間の国道11号の北側において、今年度末を目途に歩道の拡幅整備が、今、行われているというような状況でございます。

以上でございます。

○村上教育部次長 生涯学習課の村上でございます。

8番の新コミュニティセンターの建設に伴う、今後の牟礼公民館の活用についての検討ということでございますが、今後の対応といたしまして、昨年度、耐震工事の基本設計を行ったところでございますけれども、現在、実施設計を5月いっぱいということでやっております。

その中で、基本設計に比べまして、若干、工期が延びたという関係がございまして、対応の欄に書かせていただいておりますとおり、大ホールにつきましては、8月から耐震化工事に着工するという予定でございます。したがって、7月から3月末まで休業ということで考えております。

また、公民館および図書館につきましては、9月着工予定ということで考えておりますけれども、この間、公民館活動等については、隣接しております老人福祉センターの一部

を代替施設として利用することによりまして、現在、行っております公民館活動に、極力、支障のないようにしてまいりたいと予定でございます。

また、図書館につきましては、8月から3月末まで休館ということで考えておりますけれども、これにつきましても、限定した形になると思っておりますけれども、どういうサービスができるか、利用施設も含めまして、現在、担当部署のほうで検討中でございます。

また、この耐震化工事と併せまして、公民館および図書館の空調機新設工事も行う予定でございます。しばらくの間、御迷惑をおかけいたしますけれども、よろしく願いしたらいと思っております。

以上でございます。

○藤本地域政策課長 以上で、報告事項ア、イの2件の御説明を終わらせていただきます。よろしく願いいたします。

○議長（三野会長） どうもありがとうございました。

報告事項のア、イの説明が終わりましたので、これより質疑に入ります。

まず、最初に、報告事項アの「合併基本計画に係る事業の平成22年度予算化状況（地区のみの事業）」について、御質問、御意見等がございましたら、御発言を願います。

○松原委員 はい。

○議長（三野会長） はい、松原委員さん。

○松原委員 松原と申します。

1番の「連帯のまちづくり」について、御質問させていただきます。

その中の、ほのぼのワークハウスの運営についての項目ですが、ほのぼのワークハウスの運営費が45万3,000円減額となっておりますが、減額の理由と平成22年度予算の内容をお伺いしたいと思います。よろしく願いいたします。

○山田障がい福祉課長 障がい福祉課の山田と申します。失礼いたします。

○議長（三野会長） はい、どうぞ。

○山田障がい福祉課長 予算減額の理由ということでございますが、これにつきましては、利用者の作業手数料を市のほうで予算化してお支払いしておりますけれども、この手数料を21年度実績に置いたということで45万3,000円の減額ということになっておる次第でございます。

したがって、手数料が作業する中で増えてまいりますと、それに応じた予算措置は追加でしていく予定にしております。

それから、22年度予算状況でございますけれども、本年度につきましても、引き続き高松市のほうで直営で実施するというので運営費を計上しておりますが、あわせて、合併協定でございますように、民営化に向けた準備を、この一年間かけて進めてまいりたいと考えております。

以上でございます。

○議長（三野会長） はい、ありがとうございました。よろしいですか。

○松原委員 はい。

○議長（三野会長） ほかにありませんか。

○松浦委員 はい。

○議長（三野会長） はい、松浦委員さん。

○松浦委員 松浦です。

全般的な予算化について、お伺いをしたいんですが、今年の2月15日に高松市自治基本条例が制定されました。この条例が制定されたことによって、今回の予算で重点配分をしましたという項目がございましたら、お伺いしたいと思います。

○宮武市民政策部次長 はい。

○議長（三野会長） はい、どうぞ。

○宮武市民政策部次長 はい、企画課の宮武でございます。

御質問のありました自治基本条例と申しますのは、いわゆる理念の条例でございますことから、具体の事業をどうするかという規定はございません。

したがって、この自治基本条例制定によって、どれを直ちに重点的にやるということまで至っておりませんので、22年度予算におきましては、御質問のような趣旨の予算配分というのは行っておりません。

以上でございます。

○松浦委員 はい。

○議長（三野会長） はい、松浦委員さん。

○松浦委員 22年度は、そういうことはしていないということなんですが、今後、いろいろ出てくると思うんです。例えば、地域自治の支援とか、コミュニティの支援とか、いろいろ出てくると思うんですけれども、そういうことを考えておるのでしょうか。

例えば、NPOの支援とか、そういうところに予算を新しく作るというふうな考え方はないのでしょうか。

○議長（三野会長） 答弁をお願いします。

○藤本地域政策課長 はい。

○議長（三野会長） はい、課長。

○藤本地域政策課長 今年度中に自治と協働の指針を策定する予定しておりますので、その中で、行政の取組を、粗方、方向付けする予定でございますので、それを受けた形で、予算化すべきものは予算化してまいりたいと考えておりますが、今のところ、まだ指針のほうで策定中でございます。今、そういった状況でございます。

○議長（三野会長） 松浦委員さん、よろしいですか。

○松浦委員 はい。

○議長（三野会長） ほかに。

○新谷委員 はい。

○議長（三野会長） はい、新谷委員さん。

○新谷委員 新谷ですが、校庭の芝生化について、御質問させていただきます。

平成22年度は、この予算が計上されておられません。昨年度は、モデル的に牟礼北小学校で実施されたように伺っておりますが、その事業検証といたしまして、今年も事業をやるに当たって、芝生化後の管理についての課題とかですね、芝生化したことによる成果等がどうなったのかということと、今後、23年度以降、この校庭の芝生化事業について、市としてどのように考えなのか、また、牟礼町内のほかの学校への芝生化事業のお考えをお伺いします。

○滝川教育部総務課長補佐 はい。

○議長（三野会長） はい、答弁をお願いします。

○滝川教育部総務課長補佐 総務課の滝川でございます。よろしく申し上げます。

校庭の芝生化ということで、平成21年度からモデル事業として、牟礼北小学校を最初の学校として、そして、今年度、平成22年度においては、屋島西小学校を予定しております。それで、予算が今年についてはゼロということになっておるといことですけれども、昨年は、事業費として、灌水設備工事と委託料ということで、956万円計上いたしまして工事を行っております。

今年度につきましては、需用費の中で芝生の種代をみております。だから、ゼロということではございません。肥料代とか芝生の補修代というのは、学校の維持費の中の全体の中でみておりますので、それは毎年、修繕費ということで計上して、続けていこうと思いま

す。

それと、検証ということですが、一応、平成21年度で地域の協力をいただいて、初めてやりましたけれども、今現在、芝生の状態が、頻繁に使う所はかなり痛んでおります。22年度においても屋島西小学校をやっておりますけれども、ただ、市としましては、2年から3年の経過をみて、それで初めて、事業の検証ができるのでないかと思っております。

今後についてですが、今年の屋島西小学校に続いて、来年度以降についても、地域の協力がいただける学校について、毎年1校程度ずつ、行っていこうと思っております。

以上でございます。

○新谷委員 はい。

○議長（三野会長） はい、新谷委員さん。

○新谷委員 はい。

2・3年かけて、その実験、モデル事業をやって、その成果によって、今後の方向性は決めるということですか。

○滝川教育部総務課長補佐

そうですね。牟礼北小学校のほうからの報告ですが、去年9月の状態は、もう本当に運動場いっぱい緑で、子供たちが芝生の上に転がって気持ちが良いとか、さわやかだとか、地域においても、これだけの芝生を植えたら、風が起きたときの土煙とか、そういうのが少なくなったとか、そういうことを聞いております。屋島西小学校についてもそういう検証を行って、来年度以降、進めていこうという形です。

○新谷委員 はい。

○議長（三野会長） はい、新谷委員さん、どうぞ。

○新谷委員 はい、分かりました。是非、利用者である学校の先生方とか保護者の方、それから一番の利用者である生徒さんですね、いろんな角度から御意見を聞いていただいておりますので、是非、いろんな角度からの御意見をですね、2、3年かけて集めていただいて、次につなげていただきたいと思います。よろしく申し上げます。

○滝川教育部総務課長補佐 はい、分かりました。

○議長（三野会長） ちょっと、僕から聞くのは変なんですけど、私も勉強不足ですが、今、御説明で地域の協力とおっしゃったんですけど、いろいろあると思うんですけど、ちょっと、

そのあたりのことについて、お教えいただけますか。

○滝川教育部総務課長補佐 はい。

去年、御協力いただいたというのは、灌水設備と土壌改良までを市のほうが行いまして、その後、夏芝を植えるときですね、学校の生徒とか市の職員も何人かボランティアで協力してもらって、それで、一斉に植えました。それと、冬の間、夏芝を守るということで、今度は冬芝の種まきですね、その種まきにも、ボランティアによる協力いただいたということを知っております。

○議長（三野会長） はい、ありがとうございます。

ほかにありませんか。

○中野委員 はい。

○議長（三野会長） はい。

○中野委員 中野です。

3番の「連携のまちづくり」の中の、学校施設の耐震化について伺います。

牟礼北小学校、牟礼南小学校、牟礼中学校の耐震補強工事ですが、どこの場所を工事するのか伺います。また、いつごろ実施するか伺います。

○議長（三野会長） はい、御説明をお願いします。

○滝川教育部総務課長補佐 はい。

今年度の牟礼町の耐震化工事の学校でございますけれど、牟礼北小学校は、北校舎の東側1、200平方メートルおよび昇降口棟288平方メートルの2棟でございます。牟礼南小学校は、本館校舎の東側3、165平方メートルでございます。牟礼中学校は、中棟校舎の西側2、160平方メートルでございます。

工期でございますけれども、一応、予定といたしまして、すべて夏休みに工事を着手して、今年度内に全部終わる予定としております。

それと、22年度の予算ではないんですけど、大町幼稚園についても、21年度の9月補正で予算を計上させていただいておりまして、今年の夏休みから耐震補強工事を行う予定でございます。

○議長（三野会長） 中野委員さん、よろしいですか。

○中野委員 はい、よろしく願いいたします。

○滝川教育部総務課長補佐 はい、ありがとうございます。

○議長（三野会長） ほかにございませんか。

○松原委員 はい。

○議長（三野会長） はい、松原委員。

○松原委員 松原と申します。

3番の「連携のまちづくり」で、特別支援学級の設置について、今年度、牟礼小学校、牟礼中学校、各1学級の新設を書かれておりますけれども、こちらの予算の、小学校と中学校の予算配分についてお伺いしたいと思います。よろしく申し上げます。

○宮治学校教育課長補佐 議長。

○議長（三野会長） はい。

○宮治学校教育課長補佐 学校教育課でございます。よろしく申し上げます。

お尋ねの件でございますが、この71万1,000円、牟礼小学校のほうには、35万1,000円、牟礼中学校のほうは、36万円の配分となっております。

この内訳を具体的に申しあげますと、牟礼小学校の場合は、予算額が35万1,000円でございますが、特別支援学級の教材備品ということで26万円余り、一般備品で6万円位の予算で、合計35万1,000円。そして、牟礼中学校のほうでございますが、特別支援学級の教材備品ということで27万5,500円、その他、一般備品等で、合計36万円、こういった配分になっております。

○議長（三野会長） はい、ありがとうございます。

ほかにございませんか。

○川浪委員 はい。

○議長（三野会長） はい、どうぞ。

○川浪委員 はい、川浪と申します。

ほかの合併町の平成22年度予算額を教えてくださいたいんですが。

○議長（三野会長） 御質問は、牟礼地区以外のことですか。

○川浪委員 はい、そうです。

○議長（三野会長） 今日は、牟礼地区をとということで審議していきたいんですが。

○川浪委員 参考には、だめですか。

○議長（三野会長） だめというか、また、後段でですね、お話しというか、できようかと思っておりますので、とりあえず、今は、議題に載っているものについて御質問を受け賜ったらと思っております。その点、御理解ください。

○川浪委員 はい、分かりました。

○議長（三野会長） ほかに無ければ、次に進みますが、よろしいですか。

〔「なし」との声あり〕

○議長（三野会長） はい、無いようでございますので、次に進めさせていただきます。

報告事項の合併基本計画に係る平成22年度から24年度までの実施事業に関する意見に対する対応内容等についてということで、先ほど、御説明がございました項目ごとに御質問をお受けいたしたいと思っておりますので、よろしくお願ひしたいと思ひます。

まず、7番の、牟礼町大町川東地区の八栗新道交差点の改良について、御質問、御意見等がございましたら、御発言を願ひます。

○松浦委員 議長。

○議長（三野会長） はい、松浦委員、どうぞ。

○松浦委員 松浦です。

前回、国と県警のほうで協議を進められているというふうなことをお伺ひしたんですが、その協議は終わったということでの今回の御回答ということではよろしいのでしょうか。

○議長（三野会長） 御答弁をお願いします。

○石垣道路課長 道路課です。

先ほども申しましたように、交差点の一層の安全性を確保するためですね、県警のほうにおきまして、安全施設の路面表示、それから信号のLED化を、この2月に実施したということでございます。

以上でございます。

○松浦委員 はい。

○議長（三野会長） はい、どうぞ。

○松浦委員 前回、「もし協議が進められているのであれば、その中に高松市も入って、積極的に、この協議に参加してはいかがでしょうか」と御意見を申しあげたのですが、その協議が終わったというように判断してもよろしいのですかね。

○石垣道路課長 そうです。今、当面の対応としては、先ほども申しましたように、路面の表示、それから、より安全性を確保するための信号のLED化ということの対応をしたということでございます。

○松浦委員 はい。

○議長（三野会長） はい、どうぞ。

○松浦委員 今後も、まだ、検討の余地はあるということで考えてよろしんでしょうか。

○石垣道路課長 はい。

○議長（三野会長） どうぞ、御答弁を。

○石垣道路課長 はい。構造的な話としては、冒頭にも言ってますように、国道の両側に電車軌道があるというふうなことで、国道の拡張とか、そういったことについては難しいということで、ある意味、ソフト的な対応として、交通安全施設の対応がなされたということです。

あと、国道11号の北側の方においては、歩道の拡幅整備がなされるということでの交通安全対策が対応されているというような状況でありまして、この22年度末の歩道の設置ということで、一定の対応は終わるということで考えております。

○議長（三野会長） よろしいですか。

○松浦委員 はい。

○議長（三野会長） はい、ありがとうございました。ほかにございませんか。

無いようでございますので、次の項目番号8の新コミュニティセンターの建設に伴う、今後の牟礼公民館の活用についての検討について、御質問、御意見等がございましたら、御発言をいただきます。ございませんか。

御発言がございませんので、これについては置かせていただきます。

次に、項目番号1から6番までについての御質問、御意見をお願いいたしたいと思えます。これについては、1件ずつお願いしたいと思えます。どなたからでも。

○松原委員 はい。

○議長（三野会長） はい、松原委員さん。

○松原委員 松原です。2番の高齢者、障がい者の地域生活支援の充実について、お伺いしたいと思います。

先ほど言いましたように、前回、11月24日に2回目の回答をいただきました。その回答の中で、「地域包括ケアシステムづくりに努めてまいります。」という回答をいただいているのですが、それ以降、現在までの取組みについて、お伺いしたいと思います。よろしく申し上げます。

○秋山長寿福祉課長 はい。

○議長（三野会長） はい、どうぞ。

○秋山長寿福祉課長 長寿福祉課でございます。

松原委員よりの御質問にお答え申し上げます。

この御質問でございますけれども、長寿福祉課、そして、障がい福祉課、地域包括支援センターの3課にまたがる内容でございますが、私のほうから、まとめてお答えを申し上げます。

本市では、高齢者も障がい者も安心して、住み慣れた地域で、自分らしい生活を続けられるよう、各種計画に基づきまして、緊急通報装置貸与事業や紙おむつ給付事業など、各種地域生活支援事業を実施しているところでございます。

また、市内のコミュニティ協議会に対しまして、まちづくり交付金事業の中で、地域で高齢者を支えるまちづくりに関する事業を支援しているところでございまして、牟礼地区におかれましては、喫茶あんだら話事業と生きがい農園事業を実施していただいているところでございます。

また、御質問の地域包括ケアシステムづくりの内容、取組みでございますけれども、平成21年度、昨年度から認知症サポーター養成講座、これをですね、地域の民生委員・老人クラブ・自治会や老人介護支援センター、介護および福祉サービスの事業所、理容組合などの方々を対象といたしまして、59回実施をいたしております。合計で1,949人の認知症サポーターが養成されたところでございます。

本年度、22年度につきましては、2,000人養成を目標といたしまして、高齢者が身近に利用する商店や銀行、さらに、小・中学生向を対象にいたしまして、養成講座を拡大して実施する予定でございます。養成講座を受講され、地域での声かけや見守りなどの実践活動をしていただく方の働きかけを行っております、民生委員等との連絡会を開催するなど、地域とのネットワークの構築に努めているところでございます。

さらに、市内28か所の老人介護支援センターをランチ、すなわち、相談窓口といたしまして、地域の方からの相談に、よりきめ細やかな対応を行っているところでございます。

今後も、高齢者も障がい者も安心して、住み慣れた地域で、自分らしい生活を続けられるよう、各種施策・事業に積極的に取り組んでまいりたいと存じます。

よろしく、お願いいたします。

○議長（三野会長） はい、ありがとうございました。

松原委員、よろしいですか。

○松原委員 はい、ありがとうございました。

○議長（三野会長） はい、どうもありがとうございました。

ほかにございませんか。

○新谷委員 はい。

○議長（三野会長） 新谷委員さん。

○新谷委員 はい。

前回にも、いろいろと御答弁をいただきましたが、再度、総合型地域スポーツクラブの育成支援について、お伺いいたします。

聞けば聞くほど、ちょっと僕も不勉強なのかもしれませんが、高松市の中のですね、スポーツ関連施設の管理とか、運営とか、また、利用者側のいろんな団体がですね、複合的に、あるんだろうと思うんですが、その全体像がよく見えないので、できれば、ちょっとその辺の全体像がどういうふうになっているのか、お伺いしたいのが一つ。

それと、前回の御回答の中でもあるんですけれども、どうも、体育協会とスポーツクラブっていう部分があってですね、その扱いがどうも違うような。じゃあ、具体的に、何がどういふふうになっているのか、お聞きしたいんですが、いかがでしょうか。

○栗田スポーツ振興課長 はい。

○議長（三野会長） はい、どうぞ、御答弁をお願いします。

○栗田スポーツ振興課長 スポーツ振興課の栗田です。どうぞ、よろしくお伺いいたします。

総合型の地域スポーツクラブとスポーツ施設を使っている利用者との関係があると思うんですが、基本的に高松市の場合ですね、地区体育協会と高松市体育協会という二種類ございます。

現在の、むれスポーツクラブさんというのは、総合型の地域スポーツクラブであり、かつ、地区の体育協会と同じものという状態になっていると私どもは理解しております。ほかの地区は、そういう総合型地域スポーツクラブが地区体育協会と被っている所はございません。

それで、地区体育協会というのは何をするとところかという、地区の住民全体の健康の増進と体力の向上を図り、健全なコミュニティの創造に寄与することということで、要は、地区の住民の方を対象に、健康づくりであったり、体力づくりであったりということを目的に活動している団体でございます。具体的に申しますと、学校開放で、体育館なりグラウンドを使うときに、地区の団体さんの世話をされるというか、取りまとめをされているとか、運動会のときに地区体協として出で行かれるっていうか、それ以外に、もちろん

あると思うんですが、主にそのような活動をされている団体というように理解しております。

一方、総合型地域スポーツクラブというのは、地域性よりも、どちらかというと、幼児から高齢者、多世代の人を対象に、競技種目にしても1種目じゃなくて、いろんな種目をする事ができ、クラブに属する方の健康づくり、体力づくということが、目標で活動されるスポーツクラブだと思っております。現在、むれスポーツクラブさんは、両面を持っておられるという特殊な状態だと思っております。

地区の体育協会さんの場合、先ほど申しあげましたように地域の住民の方の活動ということですから、その活動場所は、基本的には学校開放の施設で、小学校の体育館、小学校のグラウンドが主です。そこを利用するために学校開放運営委員会に所属をされて、地区の方の団体の競技をするときの割り振りをしているのが本来だと思っております。

むれスポーツクラブさんも、小学校の開放の割り振りをされているという地区体協としての活動の一面をお持ちの部分があると思っております。

それと、スポーツ施設、特に、牟礼総合体育館、牟礼の中央公園の体育館、グラウンド等の利用の団体さんという部分で、現在、むれスポーツクラブの方が御利用いただいていると思いますが、通常のスポーツ施設というのは、公平性の原則、利用者皆さん、公平に抽選っていう形で、公平に利用していただくということが大原則で動いております。

その中で、むれスポーツクラブさんは、特に、今までの活動との関係がありますので、牟礼総合体育館であれ、中央公園の施設であれ、ある程度、地域性といいますか、総合型のスポーツクラブを、やっぱり、今まであったものを残していくためには、活動する場所の確保が必要であると、私どもも認識をいたしまして、本来は、公平に使っていただければいけないのですが、むれスポーツクラブさんに対しては、ある程度、優先的な利用を現在のところ認めているという状態だと理解しております。

通常、市のほかのスポーツ施設の利用は、あくまでも利用申込みをして、抽選結果で利用ができるということですが、牟礼に関しては、先ほど言いましたように、スポーツクラブを頑張っていただくために、優先の利用を認めているという状況でございます。

○新谷委員 はい。

○議長（三野会長） はい、どうぞ、新谷委員さん。

○新谷委員 なんとなく、分かったような、分からんような感じなんですけれど、高松市の体育協会があって、地区の体育協会があるんですか。高松市の体育協会と地区の体育協

会の違いは、何なんですか。

○栗田スポーツ振興課長 はい。

○議長（三野会長） はい、どうぞ。

○栗田スポーツ振興課長 高松市の体育協会というのは、競技団体の団体さんです。ですから、野球とかソフトボールとかバレーとかという競技をされる方の団体で、上に県の体育協会、その上には、日本体育協会という競技者としての系列があります。そういう競技団体の集まりが市の体育協会です。

地区体育協会は、小学校の校区ごとに、それぞれ、いろんな競技されている方が、地域として団体を作っているのが地区体育協会ということです。

○新谷委員 はい。

○議長（三野会長） はい、どうぞ、新谷委員さん。

○新谷委員 そういう意味では、本来、競技スポーツ関係の団体と学校開放のような生涯スポーツみたいなグループとが二つに別れているのが、牟礼の場合は、両面を持って一つの組織で運営しているっていうことですね、むれスポーツクラブの場合は。

○栗田スポーツ振興課長 はい、そうです。

ですから、むれスポーツクラブさんは、競技性の団体さんも会員さんにおいでますし、健康づくりをされているような団体さんもおいでということですね。それは、地区体協も一緒なんですけど、競技団体のほうが小学校の体育館、小学校のグラウンドで練習をされているのと同じ状況だというふうに認識しております。

○新谷委員 はい。

○議長（三野会長） はい、新谷委員さん。

○新谷委員 言いたいのはですね、時代の背景とともに、いろんな活動が出てきて、いろんな生涯スポーツもあれば、いろんなニュースポーツもあれば、いろんなことが出てきておって、いろんな動きがあると思うんです。

コミュニティ協議会が一本化されたようにですね、スポーツの分野も、もう一回再編して、施設の運営管理、そういったものを一元化するというような、利用者にとっても施設側にとっても本市にとっても、もっと何か有効打がある気がするんですよ。今の話を聞いておっても、それをもう一回、制度設計をし直すほうがいいんじゃないかっていうようなことの趣旨の意見なんです。まあ、牟礼のやり方がベストとは思いませんけれども、スポーツクラブが出来たときも、若干、係わってはあったんでね。是非、そういう方向で検討

していただきたいと思います。

ある意味では、競技スポーツをしている人もおれば、地域スポーツをやっている人もおれば、学校の部活動に対して地域の人が指導している部分もあったりするんですね。

例のプロスポーツ、バスケットのファイブアローズが出来たとき、わざわざ、むれスポーツクラブに参画してもらったわけですね。

そのプロの人たちも、アマチュアの競技団体バスケット部の人と一つのクラブの中でオーダレスになって、触れ合うことのできるような環境が出来とったわけなんですよ。僕はそれが一番ベストとは言いませんけども、柔軟でいいのではないかなというイメージを持っています。

そういうことも含めて、是非、見直す時期じゃないかなあということの趣旨の質問なんです、よろしくをお願いします。

○栗田スポーツ振興課長 はい。

○議長（三野会長） はい、どうぞ。

○栗田スポーツ振興課長 ですから、先ほど、長々説明したんですが、要は、高松市の地区の体育協会ってのは、学校開放の施設を使って活動している団体で、地区の方の健康づくり、体力づくりをしてる団体というふうに考えていただいて、市の体育協会とか競技団体さんは、どちらかというスポーツ施設を利用している団体です。

むれスポーツクラブさんの場合は、地区体協の側面と競技団体さんの側面の両面を持っている状況だというふうに理解しております。

高松市では、それが今現在、地区体協さんとそれ以外の部分、そういう分け方をしておりますが、地区体育協会という組織自体が高松市独自かどうか分かりませんが、非常に全国的に珍しい状況で、中身からすれば、先ほど申したように、総合型地域スポーツクラブの活動と地区体育協会の活動と非常に似通った部分があると思っておりますので、今後、地区体育協会さんが総合型地域スポーツクラブという方向に進んで行かれるというのも、一つの選択肢だと思っております。

○議長（三野会長） はい、ありがとうございました。ここで、副会長の奥谷委員に、ちょっと御発言を求めます。どうぞ。

○奥谷委員 すみません。奥谷といいます。

新谷さんのほうから、いろんな御質問をしていただいて、非常に有り難いなあと思っています。

私も4月まで、むれスポーツクラブの会長をやらせていただいていた。そんな関係で、ちょっと一言、発言させてもらいたいと思いますけれども、総合型地域スポーツクラブっていうのは、先ほど、課長のほうからおっしゃっていましたが、元々、日本体育協会のほうの助成事業で、我々、牟礼のほうも体育協会からスポレッシュ財団というのに発展的に移行していたものが、今のスポーツクラブになってきたものです。

ですから、高松市の状況が地区体協と市体協と二つあるんだと御説明があったように、市体協サイドは競技スポーツを中心にとということなんですけれど、元々、総合型地域スポーツクラブというのは、日体協からの薦めなんで、我々も牟礼町時代に学校開放なんて全く係わってなかったのですが、市と合併したとたんに学校開放ということが出てきて、ちょっと我々も慣れてない、戸惑っているという状況で今までやってきています。

今日は、むれスポーツクラブの事務局長の落合委員も居ますので、私の説明が足りなかったら補足してもらえたらとは思っていますけれども、今、4年経って、スポーツクラブのほうも、果たして、地域住民の健康づくり、体力づくりの受け皿として、スポーツクラブが十分に対応できているかどうかというのが不安なところも少し出てきているんですね。ですから、今は確かに、体育館等の優先利用させていただいていますけれども、これが継続的なものかどうかというのも不安なところもあるし、会員として何のメリットがあるんだ、今までの地区体協のような組織のほうが、まだ動きやすくていいんじゃないかというような考えの人もおりますので、そのあたり、後退することなく、せっかく作ったものから、今も、むれスポーツクラブのような総合型地域スポーツクラブは、高松市全体を見ても、ほかにこういう組織が無いので、特殊だというお話しをされていますけれども、我々が何かいけないことしているんじゃないかって、一歩進んでね、前向きでやっているという御理解をいただいた上で、是非、スポーツ振興ということですね、いろいろお力なり、御助言を頂けたら有り難いと思っています。

落合さんのほうで何か補足があったらお願いします。

以上です。

○議長（三野会長） 落合委員、何か御発言はございますか。

○落合委員 無いです。

○議長（三野会長） 無いようですが、今、奥谷副会長が言われたようなことを、ひとつ頭に置いて進めていただきたいと思います。

ありがとうございました。ほかにもございませんか。

○松原委員 はい。

○議長（三野会長） はい、松原委員。

○松原委員 松原と申します。3番の小規模多機能共生ケアの取組に対する支援について、お伺いしたいと思います。

以前、平成21年度第2回地域審議会にて、お答えを頂いているんですけども、この回答の中で、「地域密着型の施設が未整備な圏域での公募・指定を推進し、これらの有効活用を図りながら、多様な福祉ニーズに適切に対応したいと考えています。」というお答えを頂いているんですが、その後、いろいろ詳しく御説明していただいたんですけど、その中で、グループホームについてとか、すべての圏域で、何箇所か作っていくってような御説明いただいたんですが、その後の進捗状況をお伺いしたいと思います。

○和田介護保険課長補佐 はい。

○議長（三野会長） はい、どうぞ。

○和田介護保険課長補佐 介護保険課でございます。

地域密着型のサービス施設の整備の状況ということで、お答えをさせていただきます。昨年度の回答のとおり、昨年度におきましては、グループホームを、屋島・庵治地区の2圏域のうちから1箇所、そして、小規模多機能型居宅介護の施設を、塩江、庵治、香川、香南の4圏域の中から1箇所ということで募集をいたしました。

そこで、昨年度中におきまして、それぞれ1箇所ずつを選定いたしまして、現在、その2施設につきましては整備中ということでございます。

また、今年につきましては、引き続きまして、グループホーム、残りの生活圏域での1箇所となります屋島圏域で1箇所、小規模多機能につきましては、塩江、庵治、香南の3圏域を対象といたしまして1箇所ということで、募集を進めてまいることということにいたしております。

これによりまして、現在の23年度までの第4期介護保険事業計画の中での整備予定は、達成するというので、地域に密着した介護サービス事業所で、地域の交流などを進めていっていただきたいというふうに考えております。

以上でございます。

○議長（三野会長） はい、ありがとうございました。よろしいですか。

○松原委員 はい、ありがとうございました。

○議長（三野会長） ほかに。

○大林委員 はい。

○議長（三野会長） はい、大林委員，どうぞ。

○大林委員 三点ほどお伺いします。

一つは，道路課がせっかく来ておられるんで，例の高橋改修について，その後の状況，今，どのような状況になつとるのか，是非，お聞かせ願つたらと思います。

もう一つ，防災無線ですけれども，無くなるという話だったんやけど，いつごろ，どういう形になっていくもんか，今後の牟礼地区の防災行政無線の行方というか。

それと，農林水産課がおらんけん，誰か帰って言うてもろとつたらいいんやけど，今，の戸別補償のことで転作のまとめをしょんやけど，集計をするのが，農協がするんかいの，市がするんか，モタモタしょるんやけど，その辺，きちんと市の方でリーダーシップを執って，農協に任すんなら，農協頼むぞと，はっきり言わないかんだろうし。農林水産課のほうへ，ひとつよろしくお伝え願つたら思います。前段の二つについて，答えが分れば，是非，お願いします。

○議長（三野会長） 今の話は，どっちかいうたら，その他なんですが，道路課，高橋の件は，お分かりでしょうか。

○石垣道路課長 はい，道路課です。

高橋，屋島線ということですからけれども，これにつきましては，平成20年に周辺の交通量の調査を実施しました。

その中で，高橋を通過した車両の多くがですね，相引川北側の窪田横山線という市道ですけれども，そういった所へ流入しているということで，高橋だけを改修してもですね，国道11号に至る交通量を円滑に処理ができないと。

そういったことが明らかになったということもありまして，今現在，県道の牟礼中新線と国道11号との交差点の渋滞解消を緩和するためにですね，庵治町，牟礼町からの国道11号へのアクセスを強化する方策をトータル的にですね，今，検討しているところでございますので，その中で，どういったことに，どういう対応していくかということをお明らかにしていきたいなあというふう考えています。

そういったことで，今，道路管理者とか県警とか関係機関と，11号へのアクセスを強化しないと，結局，そこだけ拡幅したとしてもですね，全体としての交通混雑の解消にはつながらないということになりますので，そういったことで，全体的な交通の円滑化を図るということで検討しておるところでございます。

以上でございます。

○大林委員 はい。

○議長（三野会長） はい。

○大林委員 質問があるんやけど。屋島の方よりは11号線へ抜く、そういった形で対応したいということか。

○石垣道路課長 といいですか、高松町の交差点とか、あと農協から南へ行く東郵便局の所がありますけど、ああいった所へ流れて行ったりしているんですけど。そういったところが上手く交通処理ができないとですね、結局、高橋改修だけでは、全体の交通混雑の解消につながらないんで、そういったことで、11号へのアクセスの強化方策について、今、検討しているという、そういう状況でございます。

○大林委員 はい、ありがとう。

○議長（三野会長） この件については、牟礼、庵治それから屋島東町ですかね、トータル的に考えないかん、こういうことでございますので、ひとつ、十分考慮していただきたいと思います。次に、防災行政無線の担当課は。

○藤本地域政策課長 議長。

○議長（三野会長） はい、地域政策課長。

○藤本地域政策課長 防災行政無線につきましては、危機管理課です。それから、戸別補償については、やはり農林水産課かと思われますので、申しわけございませんが、回答を今から用意しますので、後日、御回答ということでお許しいただきたいと思います。

以上でございます。

○大林委員 はい、分かりました。

○議長（三野会長） はい、よろしく。時間の関係もでございますので、(1)の報告事項の2件については、以上で終わらせてもらいます。

(2) 協議事項

ア 合併基本計画に係る平成23年度および24年度の実施事業に関する意見の取りまとめについて

○議長（三野会長） 続きまして、(2)の協議事項アの「合併基本計画に係る平成23年度および24年度の実施事業に関する意見の取りまとめについて」でございますけれども、

この件については、委員皆様、御承知のとおり、先般5月10日付けで、大西市長よりの依頼がありましたけれども、この件について、担当部局より御説明をお願いします。

○藤本地域政策課長 議長。

○議長（三野会長） はい、課長。

○藤本地域政策課長 地域政策課の藤本でございます。

それでは、協議事項のア、「合併基本計画に係る平成23年度および平成24年度の実施事業に関する意見の取りまとめについて」、御説明をさせていただきます。

お手元のA4サイズの資料、右上にH22-1-③と記載しておりますものを御覧ください。資料の趣旨に記載しておりますように、第2期まちづくり戦略計画における平成23年度および24年度の実施事業について、地域審議会の御意見の取りまとめをお願いするものでございます。提出期限につきましては、7月29日の木曜日とさせていただきます。

恐れ入りますが、2枚目を御覧ください。こちらのほうは様式でございまして、事業等の項目と意見の内容を御記入いただくものにさせていただきます。地域審議会で御協議いただいた上、この様式で御提出をお願いいたします。

先ほども申しあげましたように、提出期限は、7月29日とさせていただきます。2か月余りの短い期間での取りまとめということで、大変、恐縮に存じますが、期限内の御提出につきまして、御協力いただけますよう、お願い申し上げます。

よろしく願いいたします。

○議長（三野会長） はい、ありがとうございます。

御説明が終わりましたが、この件について、御質問がございましたら、御発言をお願いしたいと思います。ございませんか。

無いようでございますので、先ほど御説明がございましたように、平成23年度および24年度の実施事業に関する意見の取りまとめでございますけれども、この件については、今後、自主検討会を重ねまして、本審議会で意見集約を図るということで考えてまいりたいと存じます。

まず、その取りまとめ方法につきまして、近日中に自主検討会の開催を考えておりますので、この審議会終了後、大変お忙しいと思いますが、皆さん方にお時間をいただいて御協議させていただきたいと思っておりますので、よろしく願いしたいと思います。

会議次第4 その他

○議長（三野会長） 次に、会議次第4の「その他」であります。審議会として何かお諮りしたいことがございましたら、御発言をお願いしたいと思います。

○松浦委員 はい。

○議長（三野会長） はい、松浦委員。

○松浦委員 松浦でございます。

先ほどもお話しがありました高松市自治基本条例でございますが、これに則した地域コミュニティの自立支援策というものが、コミュニティにとっては非常に重要な位置を占めてまいりました。

コミュニティ協議会というのは、我々の地区もそうですけども、まだ、今、生まれて歩き始めたばかりということでございまして、コミュニティセンターの管理委託を受けておりますけれども、コミュニティ協議会自体の力もあるんでしょうが、今後、コミュニティセンター以外に公共施設をコミュニティ協議会のほうに指定管理者として出したりとか、そういう支援策、そういうふうな方向性をお考えになつとるかどうか、その辺をお伺いをしたいんですが。

○議長（三野会長） 御答弁は何課になりましょうか。御質問、お分かりでしょうか。

○藤本地域政策課長 はい。

○議長（三野会長） はい、地域政策課長。

○藤本地域政策課長 はい。

委員さんがおっしゃられたようにですね、コミュニティ協議会は、最近立ち上がった所もございまして、これから、今、指定管理していただいております、それぞれのコミュニティセンターの管理運営で実績を積まれてですね、成熟していけばですね、そういった指定管理に名乗りを上げるとかですね、そういったことも可能になっていくのかなと思うんですけども、現在のところはですね、ほかの施設の指定管理についてですね、コミュニティ協議会として、どのような立場で臨んでいくかというのは、具体的には、まだ検討しておりません。

それから、コミュニティ協議会の支援策でございますが、こちらのほうは、まちづくり交付金という形で、それまで、いろんな関係課のほうから補助金として出していたものをまとめまして交付しておりますほかにはですね、提案型の事業で、ゆめづくり提案事業とい

うのがございます。そういった、各コミュニティで、それぞれの地域課題に応じたテーマ設定をしてですね、独自に取り組もうというコミュニティ協議会に対してですね、支援するような補助制度を設けておりますので、そういった形で、地域の課題に積極的に取り組んでいただけるような、そういった活動ができるような支援をですね、今後も検討してまいりたいというふうに思っております。

以上でございます。

○議長（三野会長） この件については、今すぐ、今日、ここで答え言うのは、なかなか出づらいということで、今後、検討してまいるということでございますので、松浦委員さん、よろしいですか。

○松浦委員 はい。

○新谷委員 はい。関連で。

○議長（三野会長） 新谷委員。

○新谷委員 以前から、コミュニティ協議会の支援については、いろいろ審議会でも話題に上がっておりまして、そもそも論の話なんですけどね、コミュニティ協議会の運営に対して、財政的支援という部分を、もう少し担保したほうが母体がしっかりするんじゃないかっていうことなんです。

今の話は、いろんな事業メニューがありますよ、だから、そういう部分を公募型でチャレンジしてくださいっていうお話だと思うんですね。

そもそも、交付金の中で、2割程度は運営に使ってよいみたいな話が後から出てきたんですけれど、僕らに言わせればですね、本来、事業費だったでしょ、ということですね。事業費の2割を運営費に回すんですかということなんです。

だから、本来は、そういう部分はですね、別枠で、やっぱり、ある程度、一定の支援をですね、コミュニティの規模なんかによるんかもしれませんが、やっぱり、行政としてもですね、本当の意味で、協働の母体がコミュニティ協議会と位置付けて、自治基本条例まで作ってやるんだったら、ある程度、一定規模の担保は、やっぱり必要やろと思うんです。運営費に対して。

多分、そこらを松浦さんは言いたいんですけど、言わんと黙っとんやと思うんです。そこらを、是非、お考えいただきたいなあと思っております。

○議長（三野会長） 藤本課長、ひとつ、今後、検討してみてください。

ほかにもございませんか。

無いようでございますので、会議次第4「その他」については、終わらせていただきます。

以上で本日の日程はすべて終わりました。最後になりましたけれども、合併基本計画に係る平成23年度および24年度の実施事業に関する意見の取りまとめという、牟礼地区にとって大変重要な仕事をお引き受けするわけでございますので、15名の委員の皆様方の今後の御協力、よろしくお願ひしたいと思います。

以上でございます。

会議次第5 閉会

○事務局（黒川支所長補佐） ありがとうございます。

これをもちまして、平成22年度第1回高松市牟礼地区地域審議会を閉会いたします。

午後3時14分 閉会

会議録署名委員

委員 落合 賢

委員 小田 幸子